

令和6年度魚礁集魚状況等調査業務仕様書

1 目的

- (1) 魚礁や割石における集魚状況等の経時的な変化を詳細に観察・調査し、魚礁の集魚効果等を定量的に把握することを目的とする。
- (2) 魚類の摂餌及び隠ぺい行動並びに魚礁の設置状況等について調査し、それぞれの魚種、漁場に適した魚礁の規模、形状、配置等を決定し、漁場の総合的な整備の推進を実施するための知見を得る。
- (3) 藻場や干潟の再生を目的として整備した施設については、その効果の発現状況や破損・滑動等機能低下の有無等について確認する。

2 調査内容

- (1) 潜水目視、ビデオ・水中写真撮影により調査を行うものとする。
- (2) 調査は次の項目によるものとする。
- (3) これらの調査結果は、調査報告書として提出するものとする。

調査項目	
① 魚礁等の状況	潜水目視観察等により魚礁等の設置状況、洗掘、埋没等を調査する。
② 環境調査	水温、潮流（流向、流速）、透視度等を測定し記録する。
③ 餌料環境	海藻類、付着生物、底生生物の種類、量について、潜水目視観察及びサンプリングを行うなどして調査する。
④ 集魚状況	潜水目視観察等によって魚礁等に蝟集している魚介類の種類及び量（全長も併記）を調査する。

※1 調査内容等については、県担当者と協議の上、変更することがある。

※2 調査場所までの移動手段は受注者が用意するものとする。

3 調査スケジュール

調査場所	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
本県海域 全域		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○（1日(日帰り)）の内、計5回

4 成果品

- (1) 調査報告書（A4版） 2部
- (2) 電子媒体（CD又はDVD） 1部